

- ・新川は名古屋市など11市4町の市街地を流れる県管理の一級河川であり、2000年の東海豪雨の被害を受け、河川激甚災害対策特別緊急事業（激特事業）により、2000年度から2004年度にかけて約21.8km（0.0k～21.8k）の区間で堤防整備や河床掘削の河川整備を実施しました。
- ・これらの河川整備を行ったことで、今回の大雨（2026年9月8日）においては、久地野水位観測所で約47cmの水位低減効果がありました。事業を実施しなかった場合、計画高水位付近まで水位が上昇したと推定されましたが、事業の実施により、堤防の決壊等による浸水被害のリスクを軽減しました。

[illegible]

	最大60分雨量 (名古屋地方気象台)	河川の最高水位（久地野水位観測所）	
		激特事業前 (東海豪雨時河道)	激特事業後 (今回大雨時河道)
東海豪雨	97mm	7.32m（実績）	—
今回の大雨	104.5mm	6.54m（推定※）	6.07m（実績）

久地野水位観測所における水位低減効果（今回の大雨）

